

55

■高原にこだまするカッコウの声

笹ヶ峰 (中頸・妙高高原町)

■環境：高原、森林
 ■対象：家族
 ■期間：6月～8月

標高1300mに広がる樹林、牧場、湖。さまざまな環境のそろった緑の高原。上信越高原国立公園の中核をなすこの高原では、観察される鳥類の種類も多く、夏には笹ヶ峰ロッジで自然観察会も開催されている。

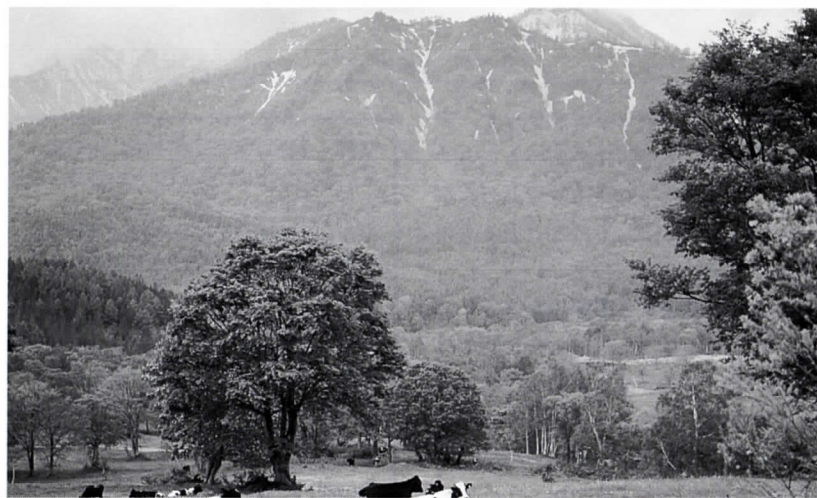
<県民の森—樹林の中の遊歩道>

笹ヶ峰は標高1300m、自然林に囲まれて笹ヶ峰牧場、乙見湖などがあり、まさに高原のイメージそのもの。探鳥コースはいろいろ考えられるが、ここでは遊歩道の整備されている県民の森を紹介しよう。

「妙高山麓県民の森」は寒冷なこの地域の気候を考慮して昭和10年から植えられたドイツウヒの林、約54ha

からなる森で全国的にも珍しい。残念ながら近年このドイツウヒが急速に枯れ始め、所々穴があいたような状態になっている。

林内に細かく整備された遊歩道を歩いてみよう。イカル、アカゲラ、キウイタダキ、キビタキなどさまざまな鳥の声に包まれ、簡単に姿を見ることはできないかもしれないが、じっくり探せば独特の色彩を持った鳥たちを木の



笹ヶ峰牧場



枝や幹に見つけることができる。チシマザサのヤブの中や木の中枝でさえずるクロジは姿をなかなか現さないで、炭色のシックな姿を見ることができた人は幸運である。またシジュウカラ、ヒガラ、コガラはそれぞれ鳴き声に独特のリズム感があり、この森でそれぞれの違いを楽しむことができる。ほかにビンズイ、アオジ、コルリ、アカハラ、ホトトギス、ツツドリなどたくさんの鳥たちの声を聞くことができよう。牧場に面した笹ヶ峰グリーンハウス付近ではモズ、カッコウ、ホオジロ、ハシブトガラスなど開けた場所を好む鳥たちが登場する。アカモズを見たという情報もある。

探鳥適期は、雪解けに左右されるが、6月上旬～7月上旬ころである。遊歩

道には階段のある個所もあるが、全体に比較的平坦で歩きやすい。各自の都合に合わせ、コースを工夫して探鳥を楽しんでほしい。

(末崎 朗)

メモ

交通 JR妙高高原駅下車、笹ヶ峰行きバス60分「県民の森」下車、徒歩5分。現在は夏季(7月20日～8月31日)のみ運行。

問い合わせ先：川中島バス妙高営業所 ☎0255-86-3171

☑ 笹ヶ峰グリーンハウス付近と連絡道入り口に駐車場有り。

探鳥会 県民の森での定期的な探鳥会は行われていない。

道草 夏季は笹ヶ峰ロッジで周辺の自然観察会が実施されている。